一年学年だより

Ｎｏ．５	９月号
令和７年９月１日	
１０４ＨＲ	

「先輩の姿」

夏休みが終わり、２学期が始まりました。高校１年生の夏休みは充実して過ごせましたか？　２年生、３年生になるにつれ、夏休みは忙しくなります。いつまでも中学生気分で過ごすことのないようにしてください。

さて、高校生活にも少しずつ慣れ、新しい友人との関係も深まってきた頃ではないでしょうか。９月は運動会、中央祭と大きな学校行事が続きます。どちらも、仲間と協力しながら一つの目標に向かって取り組む貴重な機会です。中央祭では、クラスや部活動での企画を通して、創造力や協調性が試されます。準備は大変かもしれませんが、仲間と力を合わせて作り上げる経験は、きっと心に残るものになるはずです。積極的にアイデアを出し合い、楽しみながら取り組んでください。

そして、運動会ですが、ぜひ気にしてほしいことがあります。それは上級生、特に「３年生の姿」です。１学年９クラスの大きな学校で、先輩たちと何かをする機会は少ないと思います。１学期の終わりにはグループ集会があったと思いますが、先輩たちの姿はどうでしたか？　運動会ではそのグループで活動します。準備や競技、応援練習など真剣に挑む上級生の姿にぜひ注目してください。全力で走る姿、仲間を励ます姿、チームをまとめる姿には、先輩たちの高校生活への思いや経験が詰まっています。来年、再来年には皆さんがその立場になります。その時になって感じることかもしれませんが、今は「見ること」「感じること」が大切です。

また、行事だけでなく、２学期は学習面でも大切な時期です。中だるみしやすい時期だからこそ、目標を持って取り組むことが力になります。日々の授業を大切にし、計画的に学習を進めていきましょう。それでは充実した２学期を過ごせるよう頑張りましょう。皆さんの挑戦と成長を期待します。

（１０４ＨＲ担任）

★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★★☆☆★

第１学年のみなさん、中央高校ではじめての夏休みが終わり、暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。私が在室する特別教棟３階では、普通教棟と特別教棟の間の中庭に反響するにぎやかな笑い声、部活動での真剣な発声などがしばしば届きます。授業の様子などからも、皆さんが進路実現に向け、充実した学校生活を過ごしていることと存じています。さて、近年、国外では多国間での武力衝突、紛争などによる飢餓などの問題が深刻になっています。また、国内では人口減少、非正規雇用による労働問題などがあり、国内外で社会は不安定です。このような事態が深刻化すれば、雇用は更に不安定になり、将来ひとつの仕事を安心して続けることが期待できなくなります。よって、社会に出るまでの期間には、部活動など学業内外での様々な体験を通し、自らの価値判断・理想像を醸造し、社会に必要とされる専門知識を習得すること、また、その知識を基盤として仕事に応じて応用するための思考・判断・想像力を培うこと、また、様々な逆境に耐えるための忍耐力、ストレスを受け流すためのレジリエンスを高めることなどが、変化する社会の中で生きるために大切です。

さて、今年７月６日に米国で行われた野球殿堂入り式典においてイチロー氏がスピーチを行いました。次のような言葉が印象的でした。「野球は、ただ打って、投げて、走るだけのものではありません。野球は、人生で何が大切かという価値判断を教えてくれました。世界や人生に対する私の考え方の礎になりました。」また、目標について次のような言葉もありました。「最初の２回は（１回目：1992 年日本球界新人、２回目：2001 年米国 MLB 新人）、感情をコントロールするのが今（2025 年殿堂入り）よりずっと楽でした。なぜなら、いつも目標が明確だったからです―プロの最高レベルでプレーするという目標―」「夢は必ずしも現実的ではありませんが、目標は、どうすれば到達できるかを深く考えれば、実現可能なものです。」「目標を定めて努力する中で、『継続こそが成果の土台になる』ということを学びました。」これらの言葉より、イチロー氏は、野球から人生の価値判断を習得し、明確な目標と理想の野球選手像を持ち、余計な感情に振り回されず、その目標に向けて努力を理性的に積み重ねていたことがわかります。専門技術や知識を向上させる以外にも、「努力の継続は、新たな方面に挑戦するとき、自分自身を信じるための礎になる。」と私は考えます。将来、どのような専門知識を有した人物になりたいか、また、大切にしたい価値判断、将来の理想のライフスタイルなどについて、日々真剣に考え、みなさんが有益な学校生活を送ることを願っています。

（１０４ＨＲ副担任）